

一般社団法人 日本アマチュア無線連盟 事業報告

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

I 法人の概況

1 設立年月日

昭和34年12月1日

2 定款に定める目的

本連盟は、日本におけるアマチュア無線の健全なる発達を図ることをもって、内外の電波利用による科学技術の振興、災害の防止と被災者の支援及び国際相互理解の促進に寄与し、併せてアマチュア無線家相互の友好を増進することを目的とする。

3 定款に定める事業内容

(1) 電波利用による科学技術の振興を図るための次の事業

ア 電波利用に関する調査、研究及び文献の収集

イ 電波利用に関する知識の普及及び電波利用技術の向上を図るための講習会、研究会、競技会等の開催並びに広報活動

ウ 電波利用秩序維持及び電波利用環境整備に関する事業

エ 機関紙並びに電波利用関係図書の発行、頒布及び斡旋

(2) 災害の防止及び被災者の支援を図るための次の事業

ア 災害時に備えた非常通信の訓練及び災害発生時における非常通信の実施

イ 非常通信協議会の諸活動への参加及び協力

(3) 国際相互理解の促進を図るための次の事業

ア 国際アマチュア無線連合(The International Amateur Radio Union : IARU)の日本支部としての業務

イ 諸外国のアマチュア無線団体との提携

(4) 交信証及び受信証の転送事業

(5) アマチュア無線に関する建議その他本連盟の目的を達成するために必要な事業

4 監督機関に関する事項

内閣府 公益認定等委員会

5 会員の状況

(令和3年3月7日現在)

種 類	当期末	R2年3月末比増減	備 考
正員	56,837	936	
社団会員	1,370	-42	
家族会員	1,256	-85	
准員	6,325	-235	
名誉会員	0	0	
賛助会員	163	3	法人:22 個人:141

6 主たる事務所・支部の状況

主たる事務所 一般社団法人 日本アマチュア無線連盟
東京都豊島区南大塚三丁目43番1号

7 役員に関する事項

役 職	氏 名	常勤・非常勤の別	備 考
会 長	高尾 義則	非 常 勤	
副 会 長	森田 耕司	非 常 勤	
副 会 長	尾形 和俊	非 常 勤	
専務理事	日野岳 充	常 勤	
理 事	安部 慈孝	非 常 勤	
理 事	金子 由次	非 常 勤	
理 事	中村 信雄	非 常 勤	
理 事	原 恒夫	非 常 勤	
理 事	三井 武	非 常 勤	
理 事	正村 琢磨	非 常 勤	
理 事	高橋 哲也	非 常 勤	
監 事	佐藤 眸	非 常 勤	

8 職員に関する事項

職員数		前期末比増減	備 考
男子	8名	-1	
女子	8名	+1	
合計又は平均	16名	±0	

9 許認可に関する事項

該当なし

II 事業の状況

1 事業の実施状況

令和2年度事業の実施状況は、別紙「一般社団法人日本アマチュア無線連盟 事業報告 附属明細書(別表1～8)」のとおりである。

2 重要な契約に関する事項

当事業年度に締結した長期借入金契約、重要な資産の売買契約等の該当はない。

3 役員会等に関する事項

(1) 第50回理事会

開催日 令和2年5月23日

場 所 連盟本部会議室 および Web 会議

議 題

- 第1号議題 令和元年度事業報告について
- 第2号議題 令和元年度決算について
- 第3号議題 規則第26条による理事・監事の推薦について
- 第4号議題 役員を選任について
- 第5号議題 周波数委員会からの答申について
- 第6号議題 理事からの提案について

(2) 第51回理事会

開催日 令和2年9月5日

場 所 住友不動産・ベルサール西新宿 (Room5) および Web 会議

議 題

- 第1号議題 会長の選定について
- 第2号議題 副会長および専務理事の選定について

(3) 第52回理事会

開催日 令和2年9月19日

場 所 連盟本部会議室 および Web 会議

議 題

- 第1号議題 顧問の任命について
- 第2号議題 参与の選出について
- 第3号議題 委員会の設置について
- 第4号議題 役員欠員について
- 第5号議題 アワード委員会への諮問について
- 第6号議題 コンテスト規程およびQSOパーティ規約の一部改正について
- 第7号議題 東京オリンピック・パラリンピック記念局について
- 第8号議題 アマチュア無線の社会貢献活動の促進及び無資格運用の範囲拡大について

(4) 第53回理事会

開催日 令和2年11月21日、22日
 場所 連盟本部会議室 およびWeb会議
 議題

- 第1号議題 令和2年度補正予算について
- 第2号議題 令和3年度地方本部費の配分について
- 第3号議題 社員総会議事運営規程の一部改正について
- 第4号議題 コンテスト規程及びコンテスト規約の一部改正について
- 第5号議題 「よみうりアワード」を継承するJARLのアワードの発行等について
- 第6号議題 東京オリンピック記念局実行委員会DX運用分科会審議結果について
- 第7号議題 「入会金無料キャンペーン」について

(5) 第54回理事会

開催日 令和3年2月20日、21日
 場所 連盟本部会議室 およびWeb会議
 議題

- 第1号議題 令和3年度事業計画案について
- 第2号議題 令和3年度収支予算案について
- 第3号議題 第10回定時社員総会の開催について
- 第4号議題 選挙管理会管理者の選任について
- 第5号議題 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の記念局の開設について
- 第6号議題 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の記念アワードについて
- 第7号議題 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の記念QSOパーティ開催について
- 第8号議題 特別記念局の開設について
- 第9号議題 IARU新規加盟連盟の承認について
- 第10号議題 地方本部・支部の会員増強企画と特別予算の付加について
- 第11号議題 理事欠員にともなう今後の取扱いについて
- 第12号議題 副会長の選定について

4 正味財産増減の状況及び財産の状況

	平成30年3月期	平成31年3月期	令和2年3月期	令和3年3月期
経常収益合計	398,346,235	387,958,643	396,917,874	337,622,149
経常費用合計	486,670,525	466,501,088	448,042,145	375,121,230
調整前当期正味財産増減額	- 88,324,290	- 78,542,445	- 51,124,271	- 37,499,081
資産合計	1,120,324,941	1,030,564,736	976,844,086	947,028,807
負債合計	337,874,077	328,210,414	328,797,232	338,484,531
正味財産	782,450,864	702,354,322	648,046,854	608,544,276

Ⅲ 事業報告の附属明細書

- 1 定款に定める事業内容について補足すべき重要な事項
本件については、別紙「事業報告書」のとおり
- 2 事業の状況について補足すべき重要な事項
該当なし
- 3 許認可について補足すべき事項
該当なし
- 4 事業の実施状況についての補足すべき事項
該当なし
- 5 役員会等に関する補足すべき事項
 - (1) 令和2年9月5日、第9回定時社員総会(継続会)が開催され、定款第21条第2項の規定により理事12名及び監事1名が選任された。同日、第51回理事会が開催され、定款第22条第1項から第3項の規定により、会長(代表理事 高尾義則)並びに専務理事(業務執行理事 日野岳充)が選定された。(令和2年9月24日 役員変更登記完了)
 - (2) 令和3年2月11日、前川公男理事死亡により抹消
(令和3年3月5日 役員変更登記完了)
- 6 正味財産増減の状況並びに財産の増減の推移についての補足すべき事項
該当なし

一般社団法人 日本アマチュア無線連盟
事業報告 附属明細書

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

令和2年度事業報告

令和2年度の事業は、事業計画に基づき、次のとおり実施しました。

会員数は、別表1のとおり令和3年3月7日現在、正員56,837名、社団会員1,370名、家族会員1,256名、准員6,325名の合計65,788名で、前年同月比の会員数が27年ぶりに574名の増加となりました。

なお、平成26年度から旧会費前納者の方々を対象としたライフメンバー制度の利用は、令和3年3月7日現在、ライフメンバー会費（JARL NEWSとQSL転送）2,206名、QSL転送3,439名が登録されております。また、個人の方を対象とした賛助会員は、141名の方から加入申出があり、アマチュア無線活動の活性化と財政改善への支援をいただいております。

1. 会員拡充への取り組み

これまで組織基盤の強化として会員増強活動に積極的に取り組み、平成27年度から開始した地方本部・支部による会員増強企画や、青少年やニューカマーに向けた入会キャンペーンに加えライフメンバーを含む現会員に向けた各種キャンペーンの継続、関係団体や企業などとの連携強化、さらに、アマチュア無線やJARLの活動についての積極的なPRなどを推進してきましたが、これらの施策が着実に実を結び、コロナ禍によるハムフェアをはじめとした各種催事の中止や延期にもかかわらず、会員数の漸減傾向が確実に改善し、令和2年度末（令和3年3月7日現在）の会員数が65,788名と、前年同期比で574名増加いたしました。年度末時点の前年同期比の会員数増加は、平成6年以来、実に27年ぶりとなりました。とくに、入会者数が前年度より503名増加（14.6%増）となった他、3年会費をお支払いの会員が前年度より523名増（18.0%増）となりました。

（1）次世代育成の取り組み

令和2年4月に、臨時に開設するアマチュア局による無資格者の運用についての制度改正等がなされ、アマチュア無線の体験機会が拡大しましたが、さらに同年10月に、JARLと共同で、アマチュア無線による社会貢献活動に関する取り組み、および、無資格者による体験運用のより一層の機会拡大について総務省に要望書を提出したことにより、制度の見直しが進み、令和3年3月、アマチュア無線の社会貢献活動での活用のほか、小中学生のアマチュア無線の体験機会拡大についての制度改正が実現いたしました。アマチュア無線を身近なくらしの中で活用し、アマチュア無線の一層の地位向上を図るとともに、親子や学校等での体験機会拡大を通じてのアマチュア無線の次世代育成を制度面で支援することが可能となりました。

この他、アマチュア無線を活用した世界スカウト機構の公式国際行事JOTA（ジャンボリー・オン・ジ・エア）を、JARLとして積極的にバックアップし、アマチュア無線を通じて、国内各地や外国のスカウトと交信し、相互理解や知識と友情を深めることを目的とした同イベントをサポートするなど、公益財団法人ボーイスカウト日本連盟との連携を深め、アマチュア無線を担う次世代育成に取り組みました。

(2) 各種キャンペーンの実施

令和2年度はコロナ禍により、ハムフェアをはじめとした各種の催事が中止や延期となり、各催事会場においてJARL入会を呼びかける会員増強の機会が失われましたが、これを補うキャンペーンとして、令和2年12月から令和3年3月まで「入会金無料キャンペーン」を実施し、対象会員種別において合計1,107名の入会があり、前年度同期間の入会者数と比して231名増(26%増)の新規入会となりました。

また、22歳未満の青少年を対象とした「青少年お試し入会キャンペーン」や22歳以上のニューカマーを対象とした「ニューカマーキャンペーン」等も継続するとともに、現会員に向けた「3年継続による会員期間優遇キャンペーン」や「クレジットカード・口座振替新規登録キャンペーン」の実施、3年会費をお支払いの会員に発行している「プラスチックカード」会員証のリニューアル、さらには、ライフメンバー、賛助会員に向けた「サンクスプレミアム」を実施いたしました。

(3) 地方本部・支部の会員増強企画の実施

JARLの組織力強化のため、地方のアマチュア無線の活性化と会員増強を目的として、平成27年度から3カ年ごと2期に渡って会員増強活動を実施し、年度毎に地方本部・支部からの会員増強企画を募集し、採用企画の実施が進められました。新型コロナウイルス感染拡大防止の影響を受けて、令和2年度に予定されていた支部大会やハムの集い等の多くのイベントが中止となった支部もありましたが、令和2年度は、10支部11件の増強企画が実施されました。

(4) アマチュア無線・JARLのPR促進

毎週放送のラジオ情報番組(「Radio JARL.com」)によるJARLやアマチュア無線についての情報発信を引き続き進めるとともに、JARL Webやメールマガジンにより、アマチュア無線に関する制度改正や関連の情報、JARLの各種キャンペーンや各地方本部・支部のイベント開催状況等を伝えました。

紙媒体では、関係する新聞や雑誌におけるインタビュー記事掲載やJARL専用の記事スペースによる情報発信などによる積極的なPRをおこなうとともに、「スタート!ハムライフ」や「ビギニングガイド」、「アマチュア無線を始めたら読む本」などのパンフレット/小冊子の配布をおこないました。

(5) 楽しさ発見プロジェクトの推進

各種催事等を通じてJARL会員や一般の方々へ、アマチュア無線の楽しさ・魅力とJARLの役割・活動をアピールする活動を推進いたしましたが、コロナ禍の影響により、「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」延期に伴う記念局運用やQSOパーティ・アワード発行等の延期、さらには、秋に開催予定であった「ハムフェア2020」の中止など、令和2年度においては、多くの催事等が中止や延期、開催方法を変更しての実施などを余儀なくされました。このような状況にあっても、各地方本部や支部においては、適切なコロナ対策等のもと、地域の皆様とアマチュア無線の楽しさ・魅力を共有する活動がなされました。

2. アマチュア無線活動の推進

アマチュア無線活動を推進していくための最適な情報の提供をはかるとともに、つ

ぎの事業を推進しました。

(1) アマチュア無線活動の活性化

- ① アマチュア無線の周知啓発をはかるため、各地でアマチュア無線に関する各種講習会および研究会などを開催しました。
- ② モールス電信技能認定は、審査と認定証の発行をおこないました。
- ③ コンテストは、別表2のとおり6種類実施し、コンテスト・アワードの発行やコンテスト参加記念楯制度を推進しました。
また、JARL Webのコンテストのページから「コンテスト参加証」のダウンロードを開始しました。はがきの大きさの用紙に印刷いただくと参加証が完成します。
例年開催のQSOパーティについては、開催期間を延長するとともに、十二支ステッカーを二〜四巡りと達成された方からの要望より、巡り盾の作成を行うことといたしました。
- ④ アワード発行は、別表3のとおり国内アマチュア局1,198枚、SWL10枚、海外アマチュア局100枚の合計1,308枚の発行となりました。
また、D-STARアワードは全賞あわせて16枚を発行しました。なお、JARLアワードマスターは、34件の認定証を発行しました。WACアワードの代行申請を47件おこないました。
DXCCフィールドチェックについては、コロナ禍にて郵送による受付のみとなり269件の申請を受け付けました。
- ⑤ 読売新聞社が1969年より発行し、2020年末をもって申請受付を終了した「よみうりアワード」を継承したアワード「JARL全日本10,000局」「JARL全世界10,000局」を新設することとして、2021年4月からの受付開始に向け準備をおこないました。
- ⑥ レピータ局およびビーコン局は、別表4のとおり開設・運用しました。
- ⑦ D-STARレピータは、レピータ局のゲートウェイを介した海外接続を継続し、利用動向および改善点などの検討や情報収集をおこないました。
- ⑧ D-STARユーザー局は、引き続き管理サーバーへの登録とIP付与をおこないました。
- ⑨ 特別局・特別記念局は、別表5のとおり開設・運用しました。
- ⑩ ハムフェア2020は、令和2年10月31日・11月1日の2日間、東京・有明の「東京ビッグサイト」にて開催を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止いたしました。
- ⑪ 全日本ARDF競技大会は、東北地方で開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、開催が延期となりました。また、地方ARDF競技大会は、別表6のとおり開催しました。
- ⑫ ARISS（国際宇宙ステーション上のアマチュア無線）プロジェクトへの支援・援助を引き続きおこないました。また、2020年のARISS国際代表者会議はドイツHam Radioの前後にドイツで開催の予定であったが、令和2年6月にリモート会議で開催されました。日本から3名（うちJARL1名）が参加し、今後の活動計画等の検討をおこないました。

(2) アマチュア無線制度の改善

- ① WRC-23 に向けて、アジア太平洋通信共同体(APT)の共同見解及び共同提案を策定する APT-WRC 準備会合・第 1 回会合 (APG23-1) が令和 2 年 9 月 24 日から 25 日までリモート会議で開催され、同会合に政府代表団の一員として職員 1 名が参加し、アマチュア無線関連議題の検討に参加しました。
- ② ITU (国際電気通信連合) の無線通信部門 (ITU-R) でアマチュア無線関係の議題を審議する WP5A が令和 2 年 7 月 20 日から 30 日まで及び令和 2 年 11 月 9 日から 20 日まで、リモート会議で開催されました。これらの会合に政府代表団の一員として職員 1 名が参加し、アマチュア無線関連議題の検討に参加しました。
- ③ 免許手続の簡素化と国際的なアマチュア無線制度との整合、新スプリアス規格への対応等について総務省に要請しました。
- ④ アマチュア局がすでに所持している無線機器が、新スプリアス規格に対応していることを証する手続き等についての広報に努めました。
- ⑤ これまで総務省に要望していた 1.9MHz 帯および 3.5MHz 帯の周波数拡大が令和 2 年 4 月 21 日に改正され、また、デジタルモード運用のための免許手続きの簡素化、無資格者による体験運用の機会拡大などの見直しが行われました。

(3) アマチュア衛星など宇宙通信の促進

- ① 「ふじ 3 号 (F0-29)」は、平成 8 年 8 月 17 日に打ち上げて以来長寿命を保っています。令和元年 7 月から一時動作の確認ができない状況となりましたが、9 月 12 日から不安定ながら、動作を確認するとともに、安定運用を目指し試験等を継続しています。
- ② 日本アマチュア衛星通信協会 (JAMSAT) と日本大学理工学部で共同開発した中継器搭載小型衛星 (NEXUS) が、平成 31 年 1 月 18 日に鹿児島県の内之浦宇宙空間観測所からイプシロンロケット 4 号機で打ち上げられ、現在も順調に周回を続けています。また、この他の大学や団体などが打上げを計画している小型アマチュア衛星の開発や運用に対し、協力をおこないました。

3. 電波環境のクリーン化と混信妨害の防止

日本では既に 2 億 6,278 万を超える無線局が開設 (令和 2 年情報通信白書) され、新しい多様な電波利用へのニーズにより周波数需要が極めて逼迫していることから、新たな電波利用システムの開発・実用化の動向を注視するとともに、アマチュア無線への混信妨害が発生することがないように対応しています。

(1) 電波利用の秩序維持

- ① 侵入電波の排除、違法・不法局の取締りなどの電波環境のクリーン化については、国への要望やアマチュア局からの電波障害対策相談への対応をおこないました。
- ② アマチュア局の運用指導、電波障害防止対策の指導などを実施しました。
- ③ アマチュア局が原因で障害を受けている一般の方々からの電波障害対策への対応をおこないました。
- ④ アマチュア局が受けるノイズ障害が多様化しており、それらについて情報収集をおこないました。特にインバータを使用する給湯器や太陽光発電システム、照明機器などの機器からのノイズ障害が近年増えているため、関連機関とも連

携しノイズ障害の対策と防止に努めました。

- ⑤ ガイダンス局（特別業務の局）により、使用区別を逸脱（レピータ、衛星周波数を含む）している局、コールサインの送出不完全な局および業務通信をおこなっている局に対して、注意を喚起する電波による広報をおこないました。なお、各地方の総合通信局の電波規正局と連携し、四国1回、東北1回、北陸1回の注意喚起の広報活動をおこないました。
- ⑥ バンドプランの周知用印刷物を制作・配布するとともに、違法・不法局撲滅のための広報活動をおこないました。

（2）電波環境のクリーン化

- ① 160m バンドおよび HF ローバンドの侵入電波については、会員からの情報提供の協力を得て、総務省、IARU などの関係機関に報告しその対応を要請しました。
- ② HF 帯のアマチュアバンドに侵入する海外の局からの侵入電波の排除をはじめ、V/UHF 帯のアマチュアバンドに出没する違法・不法局の取締り強化について、総務省へ要請しました。
- ③ JARL Web の「各総合通信局による不法無線局の取締り状況」のページにおいて、総務省の各地方総合通信局による違法局・不法局の取締り状況などの情報を掲載しました。

（3）電波環境に関する対応

電波利用環境問題については、電波環境関連の会合に出席し情報収集とその対応を検討するなど電磁環境問題に積極的に取り組みました。

4. 会員の増強と会員事業の推進

会員の増強については、これまで取り組みをおこなってきた様々な施策が奏功し、27年ぶりに令和2年度末の会員数が65,788名と前年同期比で574名増加いたしました。引き続き、会員増強をはかっていくため、つぎのとおり会員事業を推進しました。

（1）会員の増強

- ① QSL ビューローに到着した QSL カードのうち、一定枚数以上の QSL カードが交信相手から届いているにもかかわらず、JARL に入会されていない方へ入会案内を送付し、入会促進をおこないました。
- ② 会員の増加をはかるため、JRI、JARD および JAIA と協力してパンフレット等を配布し、アマチュア無線の普及と会員増強に努めました。また、アマチュア無線に関するパンフレット類は、「JARL 入会案内書」、「スタート！ ハムライフ」などを各種イベントや会合、支部からの要請等により配布しました。
- ③ 会員サービスの向上と JARL 会費受付代行店の活性化を目指し、代行店の愛称（「フレンドリーショップ」）とステッカーをあらたに設け、さらに、アマチュア無線機器関連メーカーの協力による、代行店を中心としたキャンペーンの準備を進めました。

（2）会員事業の推進

- ① アンテナ第三者賠償責任保険は、昨年度を301件上回る8,231件の加入がありました。また、雷事故補償保険に続き、令和元年度より傷害補償保険が加わり、

家電製品の割引の他、ホテル宿泊、パッケージ旅行、海外格安航空券、引越料金サービス、通信講座受講料や書籍の割引制度などの会員特典の充実に努めました。

- ② 会員への有益な情報をいち早く伝えるため、JARL Web のコンテンツの更新に努めました。
- ③ 正員と家族会員、及び社団会員が「コールサイン@jarl.com」で利用しているEメール転送サービス利用者数は、令和3年3月末現在 29,156 件となりました。

(3) QSL・SWLカードの転送

- ① カードの取扱処理枚数は別表7のとおり、国内外合わせて月平均約80万枚の円滑な転送に努めました。
- ② カードの発送は、郵便と佐川急便を利用しての発送ですが転送経費のより一層の効率化に努めました。
- ③ QSLビューローからの転送カードの発送完了日をJARL Web上で広報をするとともに、安定した効率的なQSLカード転送の継続に努めました。
- ④ 電子QSLシステムについては、電子QSL委員会を置いて検討を進めました。

(4) 広報活動

会員および一般の方から、インターネットを活用した情報公開が強く望まれるなか、JARLのインターネット・ホームページやメールマガジンの配信などをおおして、情報の迅速かつ詳細な提供をおこないました。

- ① JARL NEWSは年4回季刊発行し、連盟からのお知らせを始め、各地方本部、各支部、クラブの情報、その他を掲載しました。また、電子版JARL NEWSをJARL Webの会員専用ページに掲載しました。
- ② CQ出版社の協力で、毎月発行されているCQ ham radio誌のうち巻末16ページを「FROM JARL」として、最新情報や地方本部・支部事業の情報を掲載し、JARL NEWSの補完として情報提供に努めました。
- ③ 電子情報サービスは、インターネットの迅速性を活用し、JARL Webにより最新情報の提供や結果報告などを積極的におこなうとともに、JARLメールマガジンを毎月2回配信し、最新情報の提供をおこないました。メールマガジンの配信数は令和3年3月末現在30,452件となっています。また、最新の「会員手帳」を会員の方々に閲覧いただけるよう、PDF化した「会員手帳」の閲覧サービスをおこなっています。
- ④ これからアマチュア無線を始めようとしている方や無線従事者免許証を新たに取得した方々のために、パンフレットや小冊子などを各地方本部、支部、クラブ等のイベントなどで配布しました。

(5) 関連団体との連携

- ① アマチュア無線家の育成や正しい運用については、JARLと協力して周知・啓発などの推進をはかりました。
- ② JARD、公益財団法人日本無線協会(JRI)およびJAIAの協力を得て、ビギナー向け小冊子「スタート! ハムライフ」ほかの配布をおこないました。
- ③ 青少年向けにアマチュア無線を紹介したパンフレットを、地方本部、支部およびクラブ等が開催したイベントにあわせて配布しました。

5. 非常災害時への態勢整備

災害時に備え、つぎの対応をおこないました。

- ① 非常災害の発生に備えて、可搬型発電機の保管や事務局内に各種防災用品などの整備をおこないました。
- ② 「非常通信に関する基本方針ならびに非常通信実施要領」にもとづき、地方自治体と JARL 支部との災害協定締結を積極的に推進しました。また、「アマチュア局の非常通信マニュアル」を引き続き周知するとともに、啓発活動をおこないました。

6. 青少年へのアマチュア無線活動の支援と身体障がい者への援助・協力

(1) 青少年のアマチュア無線活動への周知・支援

青少年への対応をさらに進めていくため、昨年に引き続き、事務局内に設けた担当部署と各地方本部および支部との連携をはかりながら、多数の事業を実施し積極的に進めました。

- ① 青少年がアマチュア無線の楽しさや宇宙開発、通信技術への興味をかきたてる貴重な体験に触れるため、昨年に引き続き、ARISS スクールコンタクトを協力推進し、国際宇宙ステーション内の宇宙飛行士と交信をおこないました。(令和2年度内は2件)
- ② 次世代にアマチュア無線を継承する青少年(22歳未満の正員または准員)への助成をおこない、新規入会者174名の申請を受付けました。
- ③ 学校などの団体が開設する社団法人への助成制度により、中学校や高等学校等32校に助成をおこないました。
- ④ 例年実施していた5月5日のこどもの日にあわせ、南極昭和基地に開設されたJARL南極局8J1RLと、日本国内の小・中・高校生を優先して交信をおこなう「こどもの日」の特別運用については、新型コロナウイルス感染拡大にともない実施については見合わせました。

(2) 身体障がい者に対する援助・協力

身体障がい者のアマチュア無線活動を充実したものとするため「点字 JARL NEWS」を発行してアマチュア無線関連情報の周知に努めました。

7. 国際協力の推進

- ① JARL 事務局内に引き続き IARU 第3地域事務局を設置し、活動を支援しました。
- ② IARU Reg.3 に対し、引き続き STARS (アマチュア無線発展途上国の支援) タスクフォースの援助および侵入電波監視報告をおこないました。
- ③ IARU の国際ビーコン・プロジェクトを継続しておこないました。
- ④ IARU HF チャンピオンシップコンテストに関しては、参加する連盟本部局(HQ局)を公募し、6局が参加しました。
- ⑤ アメリカのデイトン・ハムベンションやドイツのハムフェア「HAM RADIO」に JARL ブースを出展し、JARL の紹介と、各国アマチュア無線家との友好親善をはかる計画でしたが、COVID-19 の感染拡大のために両イベントとも中止となりました。
- ⑥ 来日する相互運用対象国のアマチュアの日本免許取得の支援をおこないました。
- ⑦ 第20回 ARDF 世界選手権大会は、令和2年8月30日から同年9月5日までセルビア共和国での開催が予定されていましたが、ホスト団体 SRS (セルビア共和国の連盟) から新型コロナウイルスの感染拡大の関係で延期するアナウンスがあ

りましたので、JARL 選手団の派遣を見送ることにいたしました。

以上のほか、つぎの活動をおこない円滑な事業の推進に努めました。

- ① 理事会、各種委員会、地方本部・支部行事などを**別表 8**のとおり開催しました。
- ② 資格別門標板ほか、アマチュア無線関係の申請書類・グッズなどを頒布しました。

以上

別表 1

エ リ ア 別 会 員 数

(令和3年3月7日現在)

会員	関東	東海	関西	中国	四国	九州	東北	北海道	北陸	信越	合計
正 員	21,092	7,170	7,494	3,465	1,851	4,317	4,475	2,776	1,494	2,703	56,837
社団会員	491	154	158	86	46	102	129	87	62	55	1,370
家族会員	443	165	146	73	47	100	113	78	26	65	1,256
准 員	2,211	781	898	504	181	441	519	258	206	326	6,325
合 計	24,237	8,270	8,696	4,128	2,125	4,960	5,236	3,199	1,788	3,149	65,788
令和2年3月比 増 減	285	69	118	3	-1	78	-2	-12	8	28	574

正 員 エ リ ア 別 増 減

(令和3年3月7日現在)

会員	1	2	3	4	5	6	7	8	9	φ	合計
令和2年3月	20,634	7,077	7,354	3,443	1,839	4,221	4,424	2,775	1,474	2,660	55,901
令和3年3月	21,092	7,170	7,494	3,465	1,851	4,317	4,475	2,776	1,494	2,703	56,837
増 減	458	93	140	22	12	96	51	1	20	43	936

社 団 会 員 エ リ ア 別 増 減

(令和3年3月7日現在)

会員	1	2	3	4	5	6	7	8	9	φ	合計
令和2年3月	506	157	162	97	47	106	137	88	61	51	1,412
令和3年3月	491	154	158	86	46	102	129	87	62	55	1,370
増 減	-15	-3	-4	-11	-1	-4	-8	-1	1	4	-42

家 族 会 員 エ リ ア 別 増 減

(令和3年3月7日現在)

会員	1	2	3	4	5	6	7	8	9	φ	合計
令和2年3月	469	167	151	76	54	109	126	85	29	75	1,341
令和3年3月	443	165	146	73	47	100	113	78	26	65	1,256
増 減	-26	-2	-5	-3	-7	-9	-13	-7	-3	-10	-85

准 員 エ リ ア 別 増 減

(令和3年3月7日現在)

会員	1	2	3	4	5	6	7	8	9	φ	合計
令和2年3月	2,343	800	911	509	186	446	551	263	216	335	6,560
令和3年3月	2,211	781	898	504	181	441	519	258	206	326	6,325
増 減	-132	-19	-13	-5	-5	-5	-32	-5	-10	-9	-235

コンテスト実施状況

(令和2年4月～令和3年3月)

部門種目など コンテスト名	シングルオペ							マルチオペ			書類提出 局合計	賞状数
	オール バンド	シングル バンド	ニュー カマー	シル バー	QRP	D-STAR	SWL	オール バンド	2波	ジュニア		
ALL J A コンテスト	669	1,015	11	212	-	-	13				1,920 (1,675)	254
6 m & Down コンテスト	551	905	24	186	140	14	10	49	-	6	1,885 (1,648)	292
フィールド デー コンテスト	553	700	24	164	129	-	7	50	14	6	1,647 (1,385)	241
ALL ASIAN DX コンテスト	電信部門 (国内) 545							(外国) 1,265			1,810 (1,489)	411
	電話部門 (国内) 379							(外国) 739			1,118 (842)	302
全市全郡 コンテスト	616	906	20	198	-	-	8	43	17	10	1,818 (1,229)	288
QSO パーティー	交信部門 7,917							受信部門 264			8,181 (7,447)	8,181
合計											18,379 (15,715)	9,969

()内は令和元年度の数字を表します。

アワード等の発行状況

1. アワード発行数

(令和2年4月～令和3年3月)

		アマチュア局	S W L	海外局	合計
A J D		154	1	28	183
W A J A		100		26	126
H A J A			0	0	0
J C C	1 0 0	86	0	4	90
	2 0 0	50	0	5	55
	3 0 0	44	0	3	47
	4 0 0	29	0	5	34
	5 0 0	28	0	3	31
	6 0 0	25	0	3	28
	7 0 0	23	1	3	27
	8 0 0	25	0	0	25
小 計		310	1	26	337
J C G	1 0 0	28	0	3	31
	2 0 0	15	0	2	17
	3 0 0	12	0	0	12
	4 0 0	14	0	0	14
	5 0 0	6	0	0	6
小 計		75	0	5	80
A J A		34	0	0	34
1 0 M H z - 1 0 0		12	0	2	14
1 8 M H z - 1 0 0		16	0	2	18
2 4 M H z - 1 0 0		7	0	1	8
W A R C - 1 0 0 0		9	0	0	9
1 3 5 k H z 1 0 ~ 1 0 0		0	0	0	0
4 7 5 k H z	1 0	0	0	0	0
	2 0	1	0	0	1
	3 0 ~ 1 0 0	0	0	0	0
小 計		1	0	0	1
5 0 M H z	1 0 0	19	0	1	20
	2 0 0	9	0	0	9
	3 0 0	6	0	0	6
	4 0 0	3	0	0	3
	5 0 0	4	0	0	4
	6 0 0	2	0	0	2
	7 0 0	1	0	0	1
	8 0 0	1	0	0	1
	9 0 0	0	0	0	0
	1 0 0 0	0	0	0	0
小 計		45	0	1	46
1 4 4 M H z	1 0 0	15	0	1	16
	2 0 0	9	0	0	9
	3 0 0	6	0	0	6
	4 0 0	5	0	0	5
	5 0 0	4	0	0	4
	6 0 0	3	0	0	3
	7 0 0	0	0	0	0
	8 0 0	0	0	0	0
	9 0 0	1	0	0	1
	1 0 0 0	2	0	0	2
小 計		45	0	1	46

		アマチュア局	S W L	海外局	合計
430MHz	100	12	0	0	12
	200	5	0	0	5
	300	5	0	0	5
	400	6	0	0	6
	500	4	0	0	4
	600	6	0	0	6
	700	4	0	0	4
	800	1	0	0	1
	900	0	0	0	0
	1000	3	0	0	3
小計		46	0	0	46
1200MHz	10	16	0	0	16
	50	3	0	0	3
	100	5	0	0	5
	200	1	0	0	1
	300	1	0	0	1
	400	0	0	0	0
	500	0	0	0	0
小計		26	0	0	26
2400MHz 10~500		0	0	0	0
5600MHz 10~500		0	0	0	0
10GHz 10~500		0	0	0	0
24GHz 10~500		0	0	0	0
47GHz 10~500		0	0	0	0
75GHz 10~500		0	0	0	0
V・U	1000	7	0	0	7
	2000	4	0	0	4
	3000	4	0	0	4
	4000	1	0	0	1
	5000	1	0	0	1
	6000	0	0	0	0
	7000	0	0	0	0
	8000	0	0	0	0
	9000	1	0	0	1
	10000	1	0	0	1
小計		19	0	0	19
WACA		31		0	31
HACA			1	0	1
WAGA		31		0	31
HAGA			0	0	0
ADXA		20	0	5	25
ADXA-HALF		20	0	0	20
WASA	V・U・SHF	6	0	0	6
	H F	20	0	0	20
HAC			7	0	7
アマチュア衛星「ふじ」		4	0	0	4
JARL-Station	J賞	90	0	1	91
	A賞	30	0	1	31
	R賞	14	0	1	15
	L賞	9	0	0	9
W A K U		24	0	0	24
合計		1,198 (1,002)	10 (7)	100 (52)	1,308 (1,061)

()内は令和元年度の数字。以下同じ

2. ステッカー発行数

		アマチュア局	S W L	海外局	合計
JCC	150	8	0	0	8
	250	6	0	1	7
	350	2	0	0	2
	450	2	0	1	3
	550	2	0	0	2
	650	1	0	1	2
	750	2	0	0	2
小計		23	0	3	26
JCG	150	1	0	2	3
	250	0	0	0	0
	350	1	0	0	1
	450	3	0	0	3
	550	0	0	0	0
小計		5	0	2	7
AJA	500	134	0	0	134
	250	778	0	0	778
WASA	50	4	0	0	4
	100	489	0	0	489
WARC	1000	18	0	0	18
合計		1,451 (477)	0 (0)	5 (3)	1,456 (480)

3. D-STARアワード発行数

		アマチュア局	S W L	海外局	合計
D-STAR	D賞	3	0	0	3
	S賞-100	1	0	0	1
	T賞	6	0	0	6
	A賞-100	1	0	0	1
	A賞-200	0	0	0	0
	A賞-300	1	0	0	1
	A賞-400	0	0	0	0
	A賞-500	1	0	0	1
	A賞-600	1	0	0	1
	R賞-50	1	0	0	1
	R賞-100	0	0	0	0
	R賞-150	0	0	0	0
	R賞-200	1	0	0	1
	合計		16 (18)	0 (0)	0 (0)

4. 代行申請数

WAC	WAC	5B WAC	6B WAC	合計
	45 (39)	2 (2)	0 (0)	47 (41)

5. 楯数

	WACA・HACA			WAGA・HAGA			合計		
	アマチュア	SWL	海外局	アマチュア	SWL	海外局	アマチュア	SWL	海外局
	5 (5)	0 (0)	0 (0)	7 (4)	0 (0)	0 (0)	12 (9)	0 (0)	0 (0)

6. QSLカードの所持内容証明発行数

24 件

7. DXCCフィールドチェック件数

269 件

8. JARLアワードマスター

34 件

レピータ局及びビーコン局の運用

(1)レピータ局

区 分	28[MHz]	430[MHz]	1200[MHz]	2400[MHz]	5600[MHz]	10.1[GHz]	合 計
前年度までの数	1	705	369	51	5	4	1135
令和2年度の開設数	-	8	-	-	-	-	8
令和2年度の廃止数	-	18	15	4	1	1	39
合 計	1	695	354	47	4	3	1104

(2)ビーコン局

国際ビーコン計画に基づき、HF帯(14.1MHz、18.11MHz、21.15MHz、24.93MHz、28.2MHzの5バンド)でのビーコンは、平成9年5月18日から運用を開始したものを含め、50MHz、1200MHz並びに2400MHz及び5600MHz帯のビーコン電波を発射(一部、停波中。)しています。

令和2年度特別記念局等の開設・運用状況

<特別局>

地方本部	行事等の名称	開設期間	識別信号	運用場所等
関東	第69回水郷潮来あやめまつり	02.04.01~02.06.30	8J1ITAKO	茨城県潮来市
	土浦市市制施行80周年記念	02.04.10~02.12.31	8J180TSU	茨城県土浦市
	相模原市指定都市移行10周年記念事業	02.04.01~03.03.31	8N1S	神奈川県相模原市
	取手市制施行50周年記念事業	02.05.01~02.10.31	8N1TRD	茨城県取手市
	我孫子市制50周年記念協賛事業	02.07.01~02.12.31	8N1ABIKO	千葉県我孫子市
	横浜市役所新庁舎竣工記念	02.07.01~02.12.31	8N1Y	神奈川県横浜市
	新座市制施行50周年記念	02.10.01~03.03.31	8N1IZA	埼玉県新座市
	JARL関東地方本部アマチュア無線活性化キャンペーン	02.10.01~03.03.31	8J1JARL	東京都豊島区
東海	第30回静岡コンテスト	02.04.01~02.05.04	8N2020S	静岡県藤枝市
	第52回東海ハムの祭典 アマチュア無線運用体験	02.07.01~02.08.23	8J2YAA	愛知県名古屋市
関西	日本・トルコ友好130周年記念	02.03.01~02.06.30	8J3L130S	和歌山県東牟婁郡串本町
	守山市制施行50周年記念	02.06.01~02.11.08	8J3ML	滋賀県守山市
	こにゃん市設立10周年記念	02.10.01~03.03.31	8J3CAT	滋賀県湖南市
中国	福山ばら祭2020	02.04.01~02.05.17	8J4ROSE	広島県三原市
四国	第37回砥部焼きまつり	02.03.01~02.04.19	8J5TOBE	愛媛県伊予郡
	受信環境クリーン月間	02.07.01~02.10.31	8N5CLEAN	愛媛県松山市
九州	首里城再建支援特別局	02.01.01~02.12.31	8N6SHURI	沖縄県糸満市
東北	東日本大震災10周年復興記念事業	03.03.01~03.06.30	8J7E	宮城県仙台市
北海道	受信環境クリーン月間	02.10.01~02.10.31	8J8CLN	北海道札幌市
北陸	受信環境クリーン月間	02.10.01~02.10.31	8N9C	福井県大野市
信越	JARL長野県支部大会／新潟県支部大会記念	02.05.01~02.07.19	8JOWA	長野県長野市
	受信環境クリーン月間	02.09.01~02.10.31	8NOCLN	新潟県糸魚川市
	長野県立美術館開館	03.03.01~03.04.30	8NOART	長野県長野市

<特別記念局>

地方本部	行事等の名称	開設期間	識別信号	運用場所等
関東	2020 IARU HF World Championship Contest	02. 07. 01～02. 07. 12	8N1HQ	東京都港区
	2020 IARU HF World Championship Contest	02. 07. 01～02. 07. 12	8N1HQ	東京都八王子市
	2020 IARU HF World Championship Contest	02. 07. 01～02. 07. 12	8N1HQ	栃木県芳賀郡
東海	第52回東海ハムの祭典	02. 04. 01～02. 08. 23	8J2TKI	愛知県名古屋市
	2020 IARU HF World Championship Contest	02. 07. 01～02. 07. 12	8N2HQ	愛知県知多郡
関西	第25回関西アマチュア無線フェスティバル	02. 03. 28～02. 07. 19	8J3XXV 8N3Q	大阪府池田市
中国	QRPデー	02. 04. 26～02. 06. 30	8J4VLP	岡山県津山市
九州	QRPデー	02. 04. 26～02. 07. 31	8J6VLP	宮崎県日南市
	2020 IARU HF World Championship Contest	02. 07. 01～02. 07. 12	8N6HQ	熊本県阿蘇郡
北海道	QRPデー	02. 04. 26～02. 06. 30	8J8VLP	北海道札幌市
	2020 IARU HF World Championship Contest	02. 07. 01～02. 07. 12	8N8HQ	北海道札幌市
北陸	QRPデー	02. 04. 26～02. 06. 30	8J9VLP	石川県河北郡

2020地方ARDF競技大会実施状況

エリア	開催日 (部門)																			合計
		W12	W15	W19	W21	W35	W45	W55	W65	W70	M12	M15	M19	M21	M40	M50	M60	M70	M75	
関東	—																			
東海	—																			
関西	11月22日 (スプリント)	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	2	12	3	1	2	0	1	0	24
中国	—																			
四国	—																			
九州	—																			
東北	—																			
北海道	—																			
北陸	—																			
信越	—																			
合計		0	0	1	1	1	—	0	0	—	0	2	12	3	1	2	0	1	—	24
		0	0	(2)	(2)	(3)	0	(2)	(6)	0	0	(7)	(55)	(36)	(6)	(23)	(24)	(21)	0	(187)

(注) ()内は、令和元年度の数字を表します。

1997地方競技大会の参加者数は393人
 1998地方競技大会の参加者数は432人
 1999地方競技大会の参加者数は379人
 2000地方競技大会の参加者数は375人
 2001地方競技大会の参加者数は243人
 2002地方競技大会の参加者数は222人
 2003地方競技大会の参加者数は253人
 2004地方競技大会の参加者数は157人
 2005地方競技大会の参加者数は215人
 2006地方競技大会の参加者数は209人
 2007地方競技大会の参加者数は232人
 2008地方競技大会の参加者数は245人
 2009地方競技大会の参加者数は324人
 2010地方競技大会の参加者数は227人
 2011地方競技大会の参加者数は243人
 2012地方競技大会の参加者数は228人
 2013地方競技大会の参加者数は290人
 2014地方競技大会の参加者数は253人
 2015地方競技大会の参加者数は650人
 (関西は、2015全日本ARDF競技大会に兼ねて実施)
 2016地方競技大会の参加者数は283人
 2017地方競技大会の参加者数は229人
 2018地方競技大会の参加者数は200人
 2019地方競技大会の参加者数は187人

QSL・SWLカード転送状況

(令和2年4月～令和3年3月)

項目 月別	国内転送枚数	外国転送枚数	非会員枚数	取扱処理枚数
令和2年4月	690,358	0	46,962	737,320
5月	609,257	0	39,892	649,149
6月	676,677	0	35,281	711,958
7月	605,250	282,503	37,447	925,200
8月	766,145	0	41,444	807,589
9月	624,658	0	42,852	667,510
10月	701,386	0	47,056	748,442
11月	643,405	258,026	36,761	938,192
12月	715,593	0	30,305	745,898
令和3年1月	649,239	0	48,040	697,279
2月	606,395	0	40,684	647,079
3月	690,916	454,365	48,963	1,194,244
合計	7,979,279	994,894	495,687	9,469,860
月平均	664,940	82,908	41,307	789,155

令和元年度合計	7,859,358	1,136,615	495,387	9,491,360
増減	119,921	-141,721	300	-21,500
増減率(%)	1.5%	-12.5%	0.1%	-0.2%

令和2年度行事一覧

月	日	行 事	
		連 盟	地方本部・支部
令和2年			
3	8~5/4 27~4/6	ARDF委員会(メールによる) ワイヤレスネットワーク委員会(メールによる)	
4	4		神奈川県支部 神奈川非常通信コンテスト 渡島檜山支部 支部2mロールコール
	4~5		長崎県支部 長崎県コンテスト
	5		滋賀県支部 非常通信訓練ロールコール
	9		和歌山県支部 和歌山コンテスト
	11~12		大阪府支部 非常通信訓練ロールコール
	18	選挙管理会 選挙結果告示 社員・理事の候補者の選挙	信越地方本部 信越非常通信訓練コンテスト
	18~19		東北地方本部 オール東北コンテスト 岩手県支部 通信コンテスト
	20~27	会員増強組織強化委員会(メールによる)	
	24~5/1	電磁環境委員会(メールによる)	
	25~26	ALL JA コンテスト	茨城県支部 オール茨城コンテストI部
	27~5/9	監事の監査(文書による)	
5	2		渡島檜山支部 支部2mロールコール
	3		東京都支部 東京コンテスト
	5		滋賀県支部 非常通信訓練ロールコール
	9~10		三重県支部 オール三重33コンテスト 信越地方本部 JA0-VHFコンテスト
	11~24		山口県支部 オール山口コンテストHF部門
	14		青森県支部・渡島檜山支部 津軽海峡コンテスト
	16~17		長野県支部 前期QS0パーティー 東海地方本部会議 大阪府支部 非常通信訓練ロールコール
	17		群馬県支部 オール群馬コンテスト 山口県支部 オール山口コンテストV/U/SHF部門
	23		徳島県支部 コンテスト委員会
	30	第50回理事会(Web会議併催)	新潟県支部 新潟コンテスト(7MHz/ハイバンド)
	31~6/7		関西地方本部会議 四国地方本部会議 富山県支部 社団局運用(情報通信月間PR)
6	1		山形県支部 公開運用(電波の日記念) 福島県支部 公開運用(電波の日記念前後1週間)
	1~10		十勝支部 マラソンQS0
	6		関西地方本部会議

月	日	行 事		
		連 盟	地方本部・支部	
6	6	ALL ASIAN DX コンテスト(電信部門)	神奈川県支部 オール神奈川コンテスト・フォトコンテスト	
	6~7		渡島檜山支部 支部2mロールコール	
			長野県支部 ALL JA0 21/28MHzコンテスト	
	7		宮崎県支部 宮崎コンテスト	
			石狩後志支部 支部コンテスト	
	11		中国地方本部会議・監査指導委員長会議	
			滋賀県支部 非常通信訓練ロールコール	
	13		釧路根室支部 オール釧根コンテスト	
			大阪府支部 非常通信訓練ロールコール	
	13~14		関東地方本部会議	
			山形県支部 山形さくらんぼコンテスト	
	14		岐阜県支部 オール岐阜コンテスト	
			大分県支部 大分コンテスト	
	20~22		山梨県支部 山梨コンテスト	
宮城県支部 宮城通信訓練コンテスト				
21	新潟県支部 新潟コンテスト(ローバンド)			
	奈良県支部 非常通信を想定した通信実験			
27~28	島根県支部 島根対全日本コンテスト			
	北海道地方本部 ALL JA8コンテスト			
28	第9回定時社員総会			
7	4	6m AND DOWN コンテスト	関西地方本部会議	
	4~5		栃木県支部 栃木コンテスト	
			渡島檜山支部 支部2mロールコール	
	5		茨城県支部 オール茨城コンテストⅡ部	
			九州地方本部会議(Web会議)	
	9		滋賀県支部 非常通信訓練ロールコール	
			大阪府支部 非常通信訓練ロールコール	
	12		東海地方本部会議	
			北陸地方本部会議	
	14		神奈川県支部 技術講習会(電波障害とフィルター製作・VNA測定)	
			中国地方本部会議	
	16		アマチュア無線フェスティバル実行委員会	
	17~19		山口県支部 馬関まつりコンテスト	
			四国地方本部 オールJA5コンテスト	
	18~19		青森県支部 オール青森コンテスト	
			オホーツク支部 オホーツクコンテスト	
	19		東京都支部 コンテスト委員会(Web会議)	
長崎県支部 長崎県非常通信訓練コンテスト				
23	滋賀県支部 ALL滋賀コンテスト			
	和歌山県支部 支部移動ディ			
25	長崎県支部 こどもラジオ教室			
	鹿児島県支部 鹿児島コンテスト/青少年のための科学の祭典2020鹿児島			
25~26	福島県支部 全福島マラソンQSO			
25~31				

月	日	行 事		
		連 盟	地方本部・支部	
7	26		山梨県支部 ハムの集い・フィールドミーティング 岐阜県支部 支部大会実行委員会 徳島県支部 AWA3コンテスト表彰式・運用技術講習会	
	27		関東地方本部 監査指導委員長会議(文書による)	
8	1	フィールドデー コンテスト	東京都支部 フィールドオンエアデーミーティング 渡島檜山支部 支部2mロールコール	
	1~2		和歌山県支部 紀の川市防災訓練打合せ	
	6		北陸地方本部 JA9コンテストVU2020	
	8~9		奈良県支部 奈良V・UHFコンテスト	
	9		富山県支部 ハムセミナー(ラジオ工作教室)	
	10		上川宗谷支部 支部コンテスト	
	13		大阪府支部 非常通信訓練ロールコール	
	21~23		胆振日高支部 支部コンテスト	
	23		東海地方本部 東海ハムの祭典(Web開催)	
			愛知県支部 支部大会(Web併催)	
			滋賀県支部 コンテスト委員会	
	27~28		新潟県支部 ギガヘルツコンテスト	
	29~30		佐賀県支部 オール佐賀コンテスト	
30	和歌山県支部 CW&DXミーティング 秋田県支部 災害ロールコール			
9	1~10	第9回定時社員総会(継続会) 第51回理事会(Web会議併催)	徳島県支部 AWA9コンテスト(徳島マラソンコンテスト) 渡島檜山支部 支部2mロールコール	
	5		長野県支部 後期QSOパーティー	
	5~6		All ASIAN DX コンテスト(電話部門)	奈良県支部 非常通信を想定した通信実験
	5~7			大阪府支部 非常通信訓練ロールコール
	6			秋田県支部 オール秋田コンテスト
	10			岡山県支部 オール岡山コンテスト
	12~13			関西地方本部会議 四国地方本部会議
	13		奈良県支部 8J3YAA臨時体験局運用	
	19		福岡県支部 福岡コンテスト	
	19~21		奈良県支部 無線従事者養成課程講習会(4アマ・3アマ)	
	20		長崎県支部 こどもラジオ教室 大分県支部 はむ寺子屋	
	21~22		秋田県支部 高校ARDF大会	
	26		東海地方本部 愛・地球博コンテスト 愛知県支部 愛知県広域ボランティア本部運営訓練	

月	日	行 事		
		連 盟	地方本部・支部	
9	27	コンテスト委員会審査分科会	三重県支部 FOX2020	
10	1~31	全市全郡コンテスト	東京都支部 東京10クラブオンエアー(登録クラブPR)月間	
	3		渡島檜山支部 支部2mロールコール	
	4		東海地方本部会議	
			埼玉県支部 感度交換訓練	
			滋賀県支部 非常通信訓練ロールコール	
			鳥取県支部 オール鳥取コンテスト	
	8		大阪府支部 非常通信訓練ロールコール	
	10~11		広島県支部 公開運用(西条酒まつり)	
	11		関西地方本部 フィールドミーティング舞洲	
			東京都支部・神奈川県支部 アウトドアミーティング2020	
	12~13		東京オリンピック記念局実行委員会DX運用分科会	
	15~29		アワード委員会	
	17		コンテスト委員会	
	17~18			神奈川県支部 ニューオペレータハム講座
	18			和歌山県支部 8J3YAA公開運用
				千葉県支部 オール千葉コンテスト
		山梨県支部 電波教室(ラジオの製作)		
		島根県支部 非常時を想定した通信実験		
		徳島県支部 コンテスト委員会		
		富山県支部 支部の集い		
25		東京都支部 東京CWコンテスト		
		岐阜県支部 支部大会実行委員会		
		熊本県支部 電波教室		
		鹿児島県支部 電波教室(ラジオ工作会)		
		石川県支部 こどもラジオ工作教室		
		秋田県支部 高校ARDF大会		
		東京都支部 国営昭和記念公園アウトドアフェスティバル出展		
11	1	コンテスト委員会審査分科会	滋賀県支部 非常通信訓練ロールコール	
			奈良県支部 非常通信を想定した通信実験	
			大阪府支部 オール大阪コンテスト	
	1~7		東海地方本部 マラソンコンテスト	
	1~10		高知県支部 高知マラソンコンテスト	
	2~3		北陸地方本部 JA9コンテストHF2020電話部門	
	3			
	7		宮城県支部 電波教室	
			渡島檜山支部 支部2mロールコール	
	8		愛知県支部 ちびっ子電波体験教室	
			和歌山県支部 テクニカル講座	
			秋田県支部 コンテスト委員会	
12	アマチュア無線フェスティバル実行委員会	大阪府支部 非常通信訓練ロールコール		
14		滋賀県支部 支部社団局(JL3ZKV)開局式		
15		静岡県支部 支部ARDFと高文連秋季ARDF競技大会		

月	日	行 事	
		連 盟	地方本部・支部
11	15	会員増強組織強化委員会 (Web会議併催) 第53回理事会 (Web会議併催) 関西地方ARDF競技大会	岐阜県支部 支部大会・ハムの集い 徳島県支部 ハムの集い2020 (Web開催) 大分県支部 はむ寺子屋
	16		北陸地方本部 JA9コンテストHF2020電信部門
	21~22		
	22		九州地方本部 オール九州コンテスト 東京都支部 東京UHFコンテスト 山梨県支部 山梨地区非常無線通信訓練コンテスト
	22~23		
	23		
	28		京都府支部 支部大会 (Web開催) 北海道地方本部会議 (Web会議) / 北海道選出社員との懇談会 (Web会議) 信越地方本部会議 (Web会議) 鹿児島県支部 ハムのつどい前夜祭 山梨県支部 第四級アマチュア無線技士養成課程講習会
	28~29		
	29		
	12		1~15
5		渡島檜山支部 支部2mロールコール	
6			
7		秋田県支部 VUオール秋田QSOパーティー 渡島檜山支部 支部2mロールコール 十勝支部 QSOパーティー 胆振日高支部 ニューイヤー2mコンテスト	
10			
13			
22~1/8		渡島檜山支部 支部2mロールコール 秋田県支部 VUオール秋田QSOパーティー 渡島檜山支部 支部2mロールコール 十勝支部 QSOパーティー 胆振日高支部 ニューイヤー2mコンテスト	
31			
令和3年			
1		2	QSOパーティー コンテスト委員会審査分科会
	2~3	渡島檜山支部 2mを使ってのモールズ講習会 (42回)	
	2~7		
	3~31	兵庫県支部 オール兵庫コンテスト 東海地方本部会議 (Web会議) 富山県支部 富山県非常無線通信訓練コンテスト	
	4		
	9		
10	香川県支部 コンテスト委員会 熊本県支部 オール熊本コンテスト 埼玉県支部 オール埼玉コンテスト		
11			

月	日	行 事		
		連 盟	地方本部・支部	
1	14		大阪府支部 非常通信訓練ロールコール	
	16		信越地方本部会議(新潟・Web会議)	
	16~17		東京都支部 コンテスト委員会(Web会議)	
			宮城県支部 オール宮城コンテスト	
	17		神奈川県支部 神奈川ニューイヤーQRVデー	
	23		高知県支部 コンテスト委員会	
			信越地方本部会議(長野・Web会議)	
	24		鹿児島県支部 科学の祭典日置市大会(ラジオ オ工作会)	
			岡山県支部 電子工作教室atライフパーク 倉敷	
			山口県支部 おいでませ山口コンテスト	
31	鳥取県支部 鳥取OSO訓練コンテスト			
2	1~10	会員増強組織強化委員会(Web会議 併催) 東京オリンピック記念局実行委員 会DX運用分科会(メールによる) 第54回理事会(Web会議併催)	愛媛県支部 愛媛マラソンコンテスト	
	1~11		富山県支部 富山マラソンコンテスト&パ ーティ	
	6		渡島檜山支部 支部2mロールコール	
	6~7		京都府支部 京都コンテスト	
	7		滋賀県支部 非常通信訓練ロールコール	
	8		奈良県支部 非常通信を想定した通信実験	
			11	関東地方本部 関東UHFコンテスト
				愛知県支部 アマチュア無線何でも相談会(Web開催)
	大阪府支部 非常通信訓練ロールコール			
	岩手県支部 いわて雪まつりコンテスト			
	12~15		岐阜県支部 技術講習会 奈良県支部 支部大会準備会議(Web会議)	
	14			
	20~21		群馬県支部 技術講習会 山梨県支部 技術講習会・ミニ抽選会 大阪府支部 技術講習会「ワイヤーアンテ ナの短縮トラップ製作」 和歌山県支部 QSL転送受付、屋外アイポー ルミーティング 島根県支部 島根県OSO通信訓練コンテスト 富山県支部 ハムセミナー(アンテナ製作会)	
	21			
	27			関西地方本部会議
				四国地方本部会議
	27~28			広島県支部 広島WASコンテスト
	28			東京都支部 秋コレ出展
	3			1~10
6		渡島檜山支部 支部2mロールコール		
7		中国地方本部会議(文書・Web会議)		
		滋賀県支部 非常通信訓練ロールコール		

月	日	行 事	
		連 盟	地方本部・支部
3	7	ワイヤレスネットワーク委員会 (Web会議併催)	奈良県支部 非常通信を想定した通信実験 宮城県支部 アマチュア無線なんでも相談室 渡島檜山支部 非常通信伝達訓練・救命講習会
	9		
	10		熊本県支部 コンテスト委員会(メールによる)
	11		大阪府支部 非常通信訓練ロールコール
	13		長野県支部 ALL JA0コンテスト(3.5MHz)
	14		中国地方本部 オールJA4コンテスト 栃木県支部 Web講演会 徳島県支部 研修会「徳島マラソンコンテスト専用ログの使い方」 長野県支部 ALL JA0コンテスト(7MHz)
	20		東海地方本部 東海QSOコンテスト
	21		北陸地方本部会議/監査指導委員長会議 山梨県支部 第三級アマチュア無線技士養成課程講習会 愛媛県支部 コンテスト委員会 大分県支部 はむ寺子屋
	24		アマチュア無線フェスティバル実行委員会
	25		国際問題検討委員会(Web会議)
	27		関東地方本部会議(Web会議)

◎非常無線通信訓練・防災訓練

5/28	北海道地方	10/18	岐阜県
7/22	和歌山県	11/15	三重県
8/7	長崎県	11/22	東京都
8/30	愛媛県	1/12	鹿児島県
9/1	茨城県	2/14	高知県
9/4	大阪府	2/21	渡島檜山
9/13	千葉県, 和歌山県		

◎ 各支部ごとにそれぞれ支部役員会議、クラブ代表者会議などを開催するほか、支部報発行、RL局などの移動運用をおこなった。